

2019年7月吉日

日本気象学会 2019 年度秋季大会 趣意書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、公益社団法人日本気象学会の活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る 2019 年 10 月 28 日（月）から 31 日（木）までの 4 日間、福岡国際会議場（福岡市博多区）において日本気象学会 2019 年度秋季大会を開催いたします。当学会は 1882（明治 15）年の設立以来 137 年にわたる歴史を持っております。現在は公益社団法人として、気象学をはじめ大気・環境科学や気候学に関する多くの分野の我が国における研究の中核となってその発展に大きく貢献しております。近年は、激甚化する自然災害や深刻化する地球温暖化など社会問題の解決や、産業の興隆などのために研究成果を利用することを通して社会の発展に寄与しています。現在約 3,500 名の会員を擁し、研究会・講演会の開催、機関誌・学術専門誌の発行、その他の図書の刊行、研究の奨励と顕彰等の事業を広く行っております。

本大会においては全国から数百名の会員が一堂に会し、4 日間にわたり研究発表、講演、懇親会、展示会等の行事を実施する予定です。また、大会 2 日目午後には外国から国際的に著名な研究者を招聘して特別講義として講演会を行います。

大会の準備と運営に当っては、会員の奉仕活動などにより可能なかぎり経費を切り詰めるべく努力する所存ではございますが、学会予算と大会参加料だけでは賄い切れない出費が予想され追加資金を要します。時節柄、甚だ恐縮ではございますが、本大会の趣意をご賢察下さり、別添の「日本気象学会 2019 年度秋季大会協賛募集要項」をご覧の上、大会への協賛を通し大会の運営ひいては気象学や関連する科学の発展に対して、何分かのご高配を賜りますようお願い申し上げます。さらに、この機会に各企業様の活動を多くの研究者等に紹介いただく場としてご利用いただくようあわせてお願い申し上げます。

なお、「リクルートブース」は、気象学会に所属し研究に取り組んでいる大学院生（特に博士課程）や有期雇用の研究者が民間企業にて適職に出会うための機会を提供することにより、若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートする取り組みです。積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

貴社の気象学・大気科学・環境科学への関与を広く会員に提示する機会として、本大会を是非ともご活用頂ければ幸甚に存じます。何卒よろしくようお願い申し上げます。

日本気象学会 2019 年度秋季大会実行委員長

倉内 利浩

（福岡管区気象台長）